

申請理由書

※ 該当箇所に○又は記入する。

※ 新たに認定又は要件確認の継続を申請する場合は1から3まで、別居の場合は加えて4を記入する。

1 申請する扶養親族の氏名等

氏名	東京光子	組合員との続柄	妻
生年月日	昭・平・令 9 年 1 月 13 日	年齢	29 歳

2 扶養の認定を受ける親族の収入状況

収入がある場合	収入の種類	<ul style="list-style-type: none"> 年金 パート・アルバイト等 事業収入 	<ul style="list-style-type: none"> 恩給 雇用保険 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 給与 不動産収入
	収入額（年間推定額）	年額	936,000	円
		月額		円
		日額		円
労働契約内容によって被扶養者認定を受ける場合	<input checked="" type="checkbox"/> 今回申請する扶養親族は、給与収入のみであることを申し立てます。			

※ 収入がある場合は、上記収入の種類に応じた証明書を必ず添付すること。

収入がない場合は、非課税証明書等を添付すること。

3 組合員が扶養することになった経緯、他の親族が扶養できない理由（又は要件確認の継続理由）

妻は年間収入が低いため、私が扶養している。
 なお、繁忙期において早朝勤務と時間外労働を行う可能性があり、会社の業績によって賞与が支給される可能性があるが、労働条件通知書に明確な規定がなく労働契約段階では見込み難い収入のため、年間収入には含めていない。

※ 被扶養者の要件、添付資料等詳細は「福利厚生事務の手引」の被扶養者認定等の手続の項を参照すること。

4 組合員と別居している場合

(1)	別居先の住所			
(2)	別居先への送金額	年額 _____ 円	送金方法	
		月額 _____ 円		
	別居先での同居の扶養義務者の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		

※ 扶養義務者が「有」の場合は、別居先の扶養義務者が扶養できない理由等を3に記入するとともに、必要な資料を添付すること。

上記のことについて、事実と相違ないことを申告します。

なお、将来において、上記の事実と異なる状況になった場合には、速やかに申告することを誓約いたします。

令和 8 年 4 月 10 日

公立学校共済組合東京支部長 殿

(枝番)

組合員番号	0	1	2	3	4	5	6	7	0	0
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

組合員氏名

東京太郎